

(別紙 3)

山形県における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証計画/評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	ニホンジカ
技術名	囲いわなを用いたニホンジカの捕獲実証
実証地域	山形県天童市、米沢市、鶴岡市（温海地区）
実証時期	令和 7 年 8 月 ～ 令和 7 年 12 月
実施体制	一般社団法人山形県猟友会、株式会社 BO-GA
事業費	5,150,200 円

注：実証地域の位置が分かる地図を添付すること。

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の目的・目標、実施状況、効果、課題等

山形県ではニホンジカの生息密度が低く、錯誤捕獲対応に係る体制が整っていないことから、くくりわなの捕獲を制限している。一方で、侵入初期から定着期に移行しつつある当県では、ニホンジカの捕獲体制を整える必要があり、特に、無積雪期に足跡から存在を確認することが困難であり、銃猟による捕獲は難しいことから、誘引したうえでのわな捕獲に頼る他ない状況である

注：捕獲等事業によって目指す地域の状況や、軽減したい被害に関する目標、そのために必要な密度低減の考え方や捕獲数、捕獲の実施状況・効果・課題等を記載すること。

3 地域実証する技術の目的・目標・具体的な内容・効果等

錯誤捕獲を防ぐ効果的な捕獲方法の確立が必要であり、その一手法として県内において使用実績がほとんどない囲いわなの捕獲実証を行う。

実証地域は過去の調査で、カメラに子連れが写った箇所、ボイストラップ調査でオスがメスを囲んだ鳴声を確認した地域、試験捕獲を実施しメスの割合が高かった地域及び、比較対象としてこれまで捕獲実績の無い地域として選定した。

実施は、捕獲予定地に囲いわなを設置しつつ、誘引物としてヘイキューブと鉾塩を自動撮影カメラの前に配置して行動を観察した。誘引物への接食行動があった場合は、囲いわなの内部にも誘引物を配置して捕獲に移行することとした。なお、実施期間は 1 カ月以上とした。

これらを検証することで、通年を通した確実な捕獲が可能になり、ニホンジカを対象とした被害対策が促進される。

注 1：2 を踏まえて、地域実証する目的や必要性、実証の場所や日程、方法、内容、想定される効果等を具体的に記載すること。

注 2：実証する技術の写真や内容等の概要が分かる資料を添付すること。

注 3：事業終了後の評価報告においては、注 1～2 について実施した内容・結果を具体的に記入すること。

4 技術の効果の検証・評価方法/結果

低密度生息地域において、自動撮影カメラを複数台設置したことにより、これまでボイストラップでのみ生息が確認されていた地域で生体が複数回撮影された。

各地域の猟友会員の協力のもと、それぞれ囲いわなを1基設置し、誘引物としてヘイキューブ及び鉾塩を周辺の複数個所に設置し誘引に努めたが、囲いわな周辺での出没は自動撮影カメラで確認されたものの、いずれの地域でも誘引物への採食行動は認められず、囲いわなへの進入も認められなかったことから、捕獲には至らなかった。

各地域で従事した囲いわなを使用したことのない捕獲者に対し、囲いわなの設置について普及を図ることができた他、誘引なしに捕獲は難しいことについても一定程度理解を得られた

注：3を踏まえ、実施結果の確認方法や目的・目標に対する地域実証の効果を図るための指標（被害指標や密度指標等）やその収集方法、評価の方法等について記入すること（事業終了後の評価報告においては、その評価結果を具体的に記入すること。）。

5 技術の活用・普及方法、その他

引き続き、実証試験を行い、第2期山形県ニホンジカ管理計画に基づき、マニュアルやガイドライン等を整備し、市町村へ周知するとともに適切な運用のための講習会開催等により普及を図る。

注1：地域実証する技術の活用・普及方法について記載するとともに、地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

注2：事業終了後の評価報告において、特記事項に対するコメントがあれば記入すること。